

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成 29 年 6 月 12 日（月）
10:40～12:15（3・4 校時）

場 所：松江市立本庄小学校

対象者：松江市立本庄小学校 6 年生 1 4 名

指導者：○6 年担任 寺本志穂

○島根県教育庁文化財課
原田敏照、松尾充晶

1. 主 題

奈良時代のお金と奈良の大仏

2. ねらい

- ・地域を素材とした歴史学習を通し、歴史・文化財に対する興味・関心を高める。
- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
10:40～10:55（15分）体育館にて ①お金の歴史、鑄造について学ぶ。 ○担任から簡単に導入、紹介。 ○貝貨から和同開珎に至るお金の歴史を学ぶ。 ○古代の鑄造技術や、島根県に特有の青銅器について学ぶ。	・写真や図版を多用した資料を作成し活用。 ・青銅器模鑄品を活用。
10:55～11:25（30分）渡り廊下にて ②和同開珎について、鑄造体験を通して学ぶ。	・和同開珎作りセットを活用。
11:25～11:35（10分）休憩	
11:35～11:45（10分） ③奈良の大仏が作られた時代背景や製作技術について学ぶ。	・理解しやすい写真パネルを使用。
11:45～12:05（20分） ④大仏の巨大さを体験を通して学ぶ。 ○1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	・奈良の大仏の実物大パネルを活用。
12:05～12:15（10分） ⑤大仏の特徴について学ぶ。 ○独特な仏像の特徴について質問し、疑問を解く。	・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。

4. 準備物等

- ・〔実物資料〕青銅器模鑄品（銅鐸、銅剣、銅鏡）
- ・〔体験用具〕和同開珎作りセット、奈良の大仏の実物大パネル／長机（学校）
- ・〔説明用具〕写真パネル